

- ・ 事情あり陽子さんの業務である舞台設備の荷下ろしを少しばかり手伝わせてもらった。舞台芸術は私も趣味で少し関わっており、積み下ろしもやったことはあるのだけれども、これを毎週やるとか考えるとまだ想像しきれていない世界だと思う。わかるけど、私のわかる世界が全てなわけではない、という当たり前のことが改めて肌身に沁みた。また、陽子さんが足し算の仕事というのが言い得て妙だったと思う。

まず時間の使い方の話になった。プライベートと仕事についてはあまり区別しない、というのはお仕事スタイル上そうなる部分もあると思うのだけれども(セキュリティが厳しい職場であれば割と厳格に分けざるを得ないだろう)、そうではないからこそ、まあ受講者のみんなにきて貰えば実施できるな、という考え方ができるのかなと思った。制約がないので。そのあと一しなくてはならない、となってしまうのはなぜかといった話となった。いつの間にか義務感になってしまうことはたまにある。例えば先が見えない、決めたことだからやらなきゃ、という気持ちで、決めたことをやるというのがまず先に来てしまうのだと思う。

中身としては1つ目が同級生の親との関係性の話、2つ目が頑張ることについてというのが大まかに一言でいうとそういうことかなと思う。

1つ目については平日仕事の間にお子さんが頻繁に同級生の家にお邪魔していることについて、負担をかけているのではと不安に思っているという内容だった。そういえば今思ったけれども「転校してきた」と挙げていたと思うけれどもこれはなんだったんだらうな、とふと思った。転校してきたばかりだからあまり挨拶したこともないし、すごくよく知っているわけ

ではないという理解でいる。相手とは2回ほど少し話したけれども、あまりじっくり話したことはないし、気になっていないから言わない、というわけではなく？というコーチの質問にも今一つ納得感がないようだった。

2つ目については指名をいただきコーチをやったのだが、今一つコーチが問題意識を持っている「一生懸命な人をバカにするのが嫌だ・許される」ということの問題点（まあ問題と言えば問題なのだが...）についてピンときておらず、なんか課題意識と思う何かがあるのかなあといいながら聞いていたら今一つ話を進められなかったように思う。個人としての理解度は深まったけれど、ちょっとコーチングという観点ではよくなかったように思った。感想戦で他のメンバーからフォローその他いただき、話を少し前に進められたように思う。

この後にあった工場見学も普段あまり見慣れないものを複数見ることができ非常に良い機会となった。ありがとうございました。

（30代女性 千葉県）